



# 公益財団法人 茨城県国際交流協会

○多文化共生のためのサポーターバンクの運営	多文化共生の地域づくりを推進するため、多文化共生サポーターバンクを運営する。サポーターバンクには、外国人支援のための「医療通訳サポーター」、「災害時語学サポーター」、「外国人のための地域生活アドバイザー」、「地域生活サポーター」や、相互理解を進めるための「各国事情紹介講師」、「ホームステイホストファミリー」等の人材登録を推進し、活用を図る。
○外国人医療の言語サポートの実施	外国人が医療現場でコミュニケーションを容易にできるよう、医療通訳サポーターを派遣する。また、サポーターの資質向上のための研修会を実施する。予算額：100千円
○災害時の対応体制づくり	茨城県総合防災訓練に参加し、外国人と災害時語学サポーターが共に避難、消火、応急手当等の訓練を受ける。また、訓練の中で災害時語学サポーターが災害時に情報の通訳翻訳等の支援ができるよう研修する。
(4) 多文化共生の地域づくり	
○国際交流イベントへの参加	各地域で開催される国際交流フェスティバル等、イベントへの出展等参加する。予算額：700千円
○茨城ふるさとファミリー事業	留学生や在住外国人が当協会登録のホストファミリーにホームステイすることで、茨城に新しい家族を作る場を提供する。
2 グローバル交流の推進	
(1) 国際活動の情報集積・提供	
○機関紙「ふれあい茨城」の発行	年4回(6月、9月、12月、3月)発行。様々な情報や協会・民間団体の活動内容を紹介する。予算額：1,400千円
○ホームページによる情報提供・交流	協会のホームページで、各種情報を発信するとともに、情報交流の場を設ける。また、多文化共生サポーターバンクにおいて国際交流や語学等のボランティア情報を公開している。
(2) 県民の国際交流の推進	
○海外研修の実施	県の上海事務所を拠点とし、企業訪問等中国式ビジネス研修や本県留学経験者との交流など、青年の海外研修を実施する。予算額：178千円
○国際交流・協力ネットワーク会議	市町村、市町村国際交流推進組織及び民間国際交流協力団体との連絡会議を開催し、研修及び情報交換を図る。予算額：120千円
(3) 県民の国際協力の推進	
○連携による国際協力事業の実施	書き損じハガキなどを収集し国際協力を行っている団体を支援するとともに、海外での大規模災害などの際に「NGO茨城の会」と共同で街頭募金等義援金募集を行う。
3 相互理解の促進と国際化に向けた人づくり	
(1) 国際理解を推進するための事業実施体制の整備	
○茨城県国際理解教育推進協議会の設置	国際理解教育を推進するため、当協会、県、県教育委員会、大学留学生協議会等と連携し協議会を設置する。
○茨城県留学生親善大使の登録・派遣	県内在住の留学生を茨城県留学生親善大使に任命し、国際理解教育や交流事業に派遣し、県民の国際交流、国際理解を推進する。予算額：400千円
○国際理解教育研修会	国際理解教育のコーディネーターや教員を対象に国際理解教育を実施するファシリテーター育成のために研修を実施する。
(2) 相互理解の推進	
○ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業	国際理解教育のために、留学生親善大使等外国人講師やファシリテーターを学校や生涯学習の場に派遣する。予算額：600千円
○外国人による日本語スピーチコンテスト	在県外国人に日本語による意見発表の機会を提供し、県民の国際理解を図る。予算額：840千円

# 公益財団法人 茨城県国際交流協会

○世界文化セミナーの開催	世界の社会問題や文化について英語で話し合う講座を実施する。予算額:420千円
(3)世界で活躍する人材の育成	
○国際理解青年のメッセージ	高校生による国際理解に関する日本語弁論大会や留学生による日本や世界に対するシンポジウムを行い、参加者等の国際理解を深める。
○クエスト茨城留学生研修	親善大使等県内で学ぶ留学生が、茨城県に立地する企業、施設等を訪問し、本県についての理解を深める。
4(公財)茨城県国際交流協会設立25周年記念事業	
○記念事業・交流会等の実施	記念事業・交流会のほか、25周年記念誌の発行(再掲)、国際交流フェスティバル(再掲)、外国人によるスピーチコンテスト(再掲)を実施する。予算額:1,500千円



協会入居建物全景



留学生親善大使



ネットワーク会議